

町政



大森 英一

赤字決算の対策は

自立した伯耆町を構築する

赤字収支の 対応方針は

大森 平成十七年度決算の単年度収支が赤字になった。特別交付税減が主な理由だが、本年三月には減税額は把握できてい

る。本議会まで七ヶ月あったにもかかわらず、その対策が示されなかった。まして、その間の指定管理者選定にあたって、財政難について反映されていない。減額がわかった時点でなぜ指導力を発揮しなかったか。

町長 指摘を真摯に受け止める。

只、指定管理者選定にあたっては、財政が厳しい状況だが経費面だけでなく総合的に判断した。

今後、自ら先頭に立ち、議会、町民に理解が得られる行政システムの再構築に邁進する。

予算の凍結、見直しは

大森 合併協議の前提が、予算の面で土台から崩れた。この際、町民にお詫びし、予算の見直しが必要ではないか。

町長 今年度予算は、突発的な事態が生じない限り、予定通りとする。

しかし、行政自ら身を削る努力が必要であり、検証し、実行し、行政サ

定期借地権の 積極活用は

ービスの低下を生じないよう、新しい行政機構を作っていく。

大森 財政難の有効策である。財政改善策として、定期借地権の活用があるが、どこまで検討しているか。

町長 東京、大阪、名古屋の各鳥取県事務所には本町パンフレットを置き、情報収集に努めている。定期借地権の要望にも対応する。

体制見直しが必要では

町長 正式な申し出はないが、既存企業の設備拡張、大型の小売店舗設置の相談はある。今後、企業誘致を積極に取り組む。

大森 企業の進出条件に、安い土地の確保がある。条件整備、情報収集、営業能力等、専門性が問われるが、財政再建専門部署の新設が必要では。

町長 合併調整事務が一段落したので、既存の政策管理室で対応する。

企業進出の情報は

大森 企業進出の情報はあるか。



大原企業分譲地